



「岡本太郎」を体験しよう！

10月4日(日)、戸倉公民館では「無籍動物を粘土でつくる講座」を白鳥園広場において開催しました。

創作に入る前に岡本太郎美術作品の「無籍動物」について、戸倉公民館専門部の学習部長さんから学びました。

特集 公民館講座・事業の
紹介 続報

《主な掲載記事》

各公民館の活動報告……………	2
特集 公民館講座・事業の紹介 続報……………	3～5
サークル紹介……………	6
リレーエッセイ……………	7
もっと知りたいふるさと……………	8

各公民館の活動報告

菊と盆栽展

殖生六公民館長 中島 秀治

殖生公民館主催の秋の風物詩「菊と盆栽展」は、毎年10月下旬からの一週間、屋代駅市民ギャラリーで開催しています。

昨年は、東日本台風(19号)が殖生地区に甚大な被害をもたらしたため中止となりました。今年にはコロナ禍により開催が危ぶまれましたが、コロナの影響が少ないと思われる事業と判断し開催しました。

菊と盆栽展は、オイルシヨックの昭和49年に高齢者教室の菊づくり講座の発表の場として開催したのが始まりで、今年で47年の歴史があります。

殖生地区の菊と盆栽の愛好家の丹精込めた作品を、毎年8地区の分館と楽友会のご協力のもと出品していただいています。中にはプロ顔負けの作品もあり、訪れた人達の間を楽しませていきます。また、殖生小学校の児童からも毎年丹精込めて育てた菊を10鉢程出品していただいています。



丹精込めて育てた盆栽

今年も、小学校からの出品も合わせて70作品となり、鑑賞した方々には安らぎのひとつを過ごしていただけたと思います。

昨今、菊や盆栽は愛好家が減っている状況ですが、日本古来の残したい貴重な文化のひとつではないでしょうか。公民館は、伝統文化の発表の場、鑑賞の場を提供する役割を担っていると考えています。

今年も大勢の皆様が屋代駅市民ギャラリーにお越しいただきありがとうございました。

そして、ご協力をいただきました関係各位には心よりお礼申し上げます。

星空コンサートと秋の星座を楽しむ

戸倉公民館

9月26日(土)、戸倉創造館で、保育園児から小学生までの親子を対象とした「みんなと秋の星空を見よう!プラネタリウム編」を千曲市社会福祉協議会と共同開催しました。



プラネタリウム前に手指の消毒を

空気で膨らませた移動型のプラネタリウムドームを使用した「秋の星空のおはなし会」では、講師の長野県自然観察インストラクターの吉迫由美さんより星座の話や星の見つけ方を学びました。

また、秋の星座を学ぶ企画と同時に、弦楽器カルテットによる「星空」をテーマとしたロビーコンサートも開催しました。演奏グループは「メモリアルイヤヤー作曲家演奏会」の皆さんで、来館者の皆さんに自由に生演奏を楽しんでいただきました。

秋は白鳥園に集まろう

戸倉公民館

10月4日(日)、白鳥園芝生

広場周辺で、家族みんなでわくわくする体験プログラムとして次の3件を千曲市社会福祉協議会と共同開催しました。新型コロナウイルス感染症予防対策をして、一日中楽しめる体験プログラムでした。

午前中の「みんなでネイチャーゲーム」では、長野県シェアリングネイチャー協会の皆さんと芝生広場で家族や分館役員班に分かれてゲームを楽



89ちゃんと皿回し

しみました。

午後の「コメディーパーフォーマンス」では、笑顔のマイスター愉快な道化師89(はく)ちゃんが公演しました。集まった親子と楽しくお話をしながら色々なパフォーマンスを披露してくれました。

「岡本太郎を体験しよう!」では、講師に宮入由美さんをお迎えして、無籍動物を粘土でつくる講座を白鳥園広場で開催しました。

この「ワークショップ」には、31名が参加し、「無籍動物」をデッサンして、レオン粘土(油粘土)をこねて造形しました。完成作品をひとりひとりが発表をした後、講師から講評をいただきました。

公民館講座・専門の紹介

各公民館の講座の様子や各種事業を紹介します。

続報

稲荷山公民館

コロナ禍でのさわやか教室

田中 茂恵

8月28日(金)にコロナ禍で延期されていたさわやか教室の開講式と講演会が併せて開催されました。自粛の中、我慢する日が多かったので少しホッとして参加しました。

講師は宅幼老所「和らぎの家」を運営されている高山さや佳さんでした。私は以前講演会でお話を聞いたり、お店へ行ったり、何度かお話を聞く機会がありました。その都度、弱者の方にやさしく寄り添い、笑顔で話したり、接するのを見て、「まだお若いのにすごいなあ」と感心していたので、今回の講演会も楽しみに参加しました。



豊富な体験を語る講師

「深刻にならずに、前向きに支え合い助けてもらって生活できるかなあ」と思いました。

自粛生活の中で、心のどこかに「コロナ禍」というトゲが出て、それがいつも引っかけかり自由に動けない。今まで普通に生活していたのに、こんな生活になるとは思ってもみませんでした。

地域の活動に公民館が果たしてきた役割を改めて感じて、少しずつ皆で気をつけながら活動出来るようになり、とても感謝しています。今できることをやりながら、少しでも有意義な時間を持てるよう、日常を大事に過ごしたいです。

稲荷山公民館

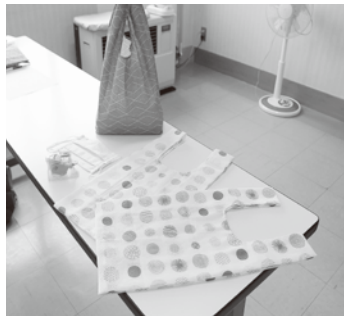
楽しくリメイク入門

風間 美恵子

この春、稲荷山公民館の成人講座に「リメイク入門」という新しい講座があり申し込みましたが、コロナ禍で8月末からスタートとなりました。最初は用意していただいたキットを使って皆で同じ物を2、3個作り、それから個別の素材を手掛けるとのことでした。

講師の大日方みねこ先生は毎回お気に入りの和服などをすてきに変身させたブラウスやパンツを着てこられ、私達のやる気も刺激されます。

月1回の講座で、9月はプリーツのあるマスクを作りました。この講座ではすべて手縫いのため「縫い目がきれいに揃わない」とか「針に糸を通すのがたいへん」とか、お



10月の作品はエコバック

年頃の話題でにぎやかに楽しく作ることができました。

この日先生がデスクスレダー(手の平に乗るサイズの糸通し機)という秘密兵器を持ってきてくれました。針と糸を置いてボタンを押せば、あつという間に糸通し完了です。皆さん大喜びで使わせていただきました。

この後エコバックやコサージュなどを教えていただき、個々の作品作りへと続いていくようです。手先は器用ではなく工夫するセンスも持ち合わせていませんが、先生にご指導いただきながら、皆さんとリメイクを楽しみたいと思います。

「好きだった服」「もつたいたなくて捨てられない和服」などが、どんな物に生まれ変わるかとても楽しみです。

稲荷山公民館

習字教室

講師 下崎 恵美子

稲荷山公民館では、毎年4月に、治田小学校に通う3年生から6年生までの児童を対象に、習字教室の募集をしています。毎年定員を超える応募があ



真剣に取り組んでいます

り、抽選で選ばれた人だけしか入れないのですが、今年はコロナ禍ということもあって、10名の応募者全員が入ることが出来ました。

この教室では、毛筆・硬筆の習字練習を通じて、筆に慣れ親しみ、上手に書くことを主な目標としています。特に毛筆においては、筆の基本的な入り方と終わり方に注意をしながら指導しています。

最初は本人の意志よりも、親達に言われるがまま入ってきた児童も、回を重ねる毎に筆で書くことにも慣れて楽しく教室に通ってくれます。ひとつの作品を仕上げると、次の作品のお手本を楽しみにしています。また、作品として市の文化祭や公民館の発表会に展示しています。お家の方やお友達に「字が上手だね」と褒められることが何よりも

励みになっていようです。年度末には学年を越えたお友達もでき、楽しくこの習字教室に通い、最後には全員が「習字教室に入って良かった」と思ってもらえるように工夫しながら、指導にあたっています。

4年 宮坂 心子

この習字教室に入ったきっかけは、自分は字を書くことが好きで「もつともつと字をきれいに書きたい」と思ったからです。

教室で習字をしたり、えんぴつで字を書いたりするのはとても楽しいです。先生は字がとてもきれいで、一つ一つていねいに教えてくれるので字が上手に書けます。

色々な字を書いてきたけれど、わたしには書きたい字があります。それは「道」という字です。部首の「しんにょう」がむずかしいと思うし、バランスが悪くなったりすると思います。でも、そういうむずかしい字もチャレンジしたいです。

習字教室は3年生の時にもやっていた、休まず通ったので「皆勤賞」をとりました。今年も「皆勤賞」をとりたいです。

3年 小林 弥生

私が習字教室をはじめたきっかけは、字をきれいに書けるようになったからです。習字教室にかよって、字をきれいに書けたと思った時がありました。学校でも字をきれいに書こうと決めています。

習字教室ではさいしよに、ふでで半紙に文字を書きまします。次に6Bのえんぴつを使って文章を書きます。うまく書くのはむずかしいけれど、うまく書けるとうれいのです。教室には友だちもいるのでよかったです。

これからも、習字教室を1回も休まずに行き、字をきれいに書けるようにがんばりたいです。

稲荷山公民館 川柳を楽しもう

中山 博雅

稲荷山公民館主催の成人講座「川柳を楽しもう」が全8回の予定で計画されましたが、コロナ禍による影響により第1回、第2回が中止で、第3回目の8月18日(火)より開講



川柳の基本は・・・？

となりました。

開講にあたり講師の近藤魁風先生より「俳句と川柳の違い」「川柳づくりの基本」「川柳の分類」「句を作るとき避けるべきこと」等の基本を教えるべきこと」という課題を出され先生に講評をいただきました。短い時間での作句ではありましたが出来栄は素晴らしい、様々な着想で感性の豊かさに先生も感心しきりでした。

「川柳」といえば、「サラリーマン川柳」ぐらいしかなじみありませんでした。でも、実際参加して自分なりの思い付きや感性を生かした作句は素人なりに味のある句となり、結構面白いと感じ

ることができました。参加された皆さんの句にも感化され、より良い作品を作ろうと辞書を片手にこれからも頑張ろうと思うようになりました。一年間の短い間の教室ではありますが「川柳とは」の問いかけに少しは答えられる感性が備わるのではないかと思います。

近藤先生には、素人の私たちを指導するにあたり、ご苦労もありません。ご苦労が、教室の終わり頃には、もつと学びたいと思えるように頑張ります。

屋代公民館 ふるさと千曲市の草木に学ぶ

講師 永井 茂富 (旧姓・高見沢)

昭和21年10月2日に千曲市倉科で生を受けました。37年間小中学校の教員として教壇に立ち、退職後は、長野県環境保全研究所で植物分類について3年間学び、その後は県力ルチャーセンター、長野市内の公民館で講師として数百回を超える植物講座の講師を務めてきました。

今回、故郷千曲市の屋代公

民館の講師を引き受けることになり、これまでの植物講座を始める時と違い、大変緊張し、ドキドキしていました。高校卒業と同時に倉科を離れ、上京してから、いろいろな場所を転々とし、55年ぶりに故郷に帰ってきたと実感するからだと思えます。感慨無量です。

現在は、長野市の浅川に住んでいます。年に3、4回故郷に帰ってきます。篠ノ井を通り土口、雨宮と倉科が近づいてくると必ず目が潤み涙が出そうになります。この千曲市がこんな私を育ててくれたのだと感謝の気持ちが起るからです。

故郷にお世話になった恩返しとして講師を引き受けることになり感謝しております。



講師の説明に熱心に聞き入る受講生



千曲市は豊かな美しい自然に恵まれた地域であります。これらの自然、特に、この地に生息する植物たちの生き方とそれに学んだ先人の知恵に学ぶことは、人生の生き方を強めます。そのため、市内の景勝地を訪ね、千曲市の草木や植物文化財をじっくりと観察しようと思います。

単なる植物学の講座ではなく、自然の一員として、先人たちのように自然を大切にすることを心掛け、全12回の講座では、四季の移り変わりを感じながら、千曲市の草木の特徴を深く知り、一層大切にしたいと思っています。

一つ一つの草木に感動を持ち、その素晴らしさを更に深く理解できる講座にしていきたいと思えます。よろしくお願います。

屋代公民館

ゆうゆう学級

フランス刺繍講座

橋詰 光子

私は今年、久し振りに友人を誘い屋代公民館の「ゆうゆう学級」に申し込みました。



苦勞して完成した作品

ところが、コロナ禍で開講も出来ず、猛暑で家の中でじつと過ごしておりました。そんな夏の終りにタイムイング良く「フランス刺繍開講」の通知が届きました。不器用な私ですが、参加させてもらうことにしました。

1回目の講座では、開講式の後、布・糸・製図が配られ、窪田先生の優雅な針さばきに、うっとり見とれました。しかし、いざ自分が針を刺すと糸が言うことをきかず、やり直し。宿題をもらって帰ってきました。

2回目の講座では、宿題をクリアし、「ダイヤモンドスモーキング」という刺し方で、ひだ山を合わせると、布の上に見える模様が見え、先生少し余裕も生まれ、先生

の手解きで、手順が見え、2回目の講座が終了。家で残りの刺繍を刺し、エプロンに仕上げるべく、周りを手縫いでチクチク刺すと、不思議に心が落ち着き楽しく縫うことに集中できました。

そんなことをしていると自分の子どもの頃に履いていた赤いベツチンの足袋の裏が薄くなる、優しい祖母がチクチク縫って補強してくれたその温もりが甦りました。また、小学校の家庭科の時間に緋の布に穴をあけ裏から当て布をし、柄合わせをして周りをチクチク・・・あの頃から世の中が少しづつ豊かに便利になりました。でも、それを当たり前と思わず感謝しなければならぬ等と思いつつチクチク・・・あれは力ギ穴つぎ？かけつぎ？だったのかなあ。

3回目の最後の講座、憧れの刺繍枠を窪田先生よりお借りし一針一針ダブルクロスを刺すと私だけのエプロンが出来上がり。大満足・・・

閉講式の後、先生を囲み写真を撮りました。次はオリジナルブラウスを作ろうと夢が膨らんだ楽しい「フランス刺繍講座」でした。

上山田公民館

「やんま」と麻雀の思い出

宮島 康次

上山田公民館には「癒しのサロンさんま」という活動があります。「さんま」の意味は、空間・時間・仲間の「3間」のことです。

私がさんまに参加するきっかけは3年前「上山田公民館だより」を読み、公民館で麻雀ができることを知ったからです。参加している女性の皆さんも、認知症防止と言いつつも熱心に麻雀を楽しんでいます。毎週水曜日12時〜15時までの時間ですが、熱心な女性には12時には卓を囲んでおり、12時30分頃からは男性陣も卓を囲みます。

女性陣は初心者がほとんどですが、熱心に指導してくださる男性もおり「口は悪いが、私の番だね」



私の番だね

とても解りやすい」という人気者もおります。昨年からは女性とともに麻雀好きが増え、大勢の方が市内全域から参加しています。

私が麻雀好きになったのは、50年近く前の大学生時代です。当時、大学の周りには、たくさん雀荘があり何台もの卓が置かれ、身動きもとれないような状態で、部屋の中は煙草の煙で空気が白くさえ感じるほどでした。この頃の娯楽といえば、パチンコと麻雀が盛んな時代でした。

高齢化が進み、人と人との付き合いも減りつつある中、公民館活動として、このような交流の場を設けていただけるとは、大変ありがたいことだと思えます。今後より一層高齢化が進み、公民館としての役割も一段と重要性を帯びてくるものと思えます。最後になりますが、「さんま」を企画していただいた前児玉館長さん、今年もお世話になる公民館の皆さんに、感謝申し上げます。

飲まない・吸わない・賭けない「3ない健康麻雀」です。「癒しのサロンさんま」に興味がある方は上山田公民館へお問い合わせください。

八幡公民館

千曲市再発見！
上山田温泉街ぶらぶら散歩

10月8日(木)、いきいき学級の館外研修として上山田温泉街の散策を実施しました。

当日は台風の影響で雨。残念ながら散策できませんでしたが、八幡公民館ロビーで歩くはずだった場所の写真をみながら、水害と戦った温泉の始まりのころの話や亀が見つけた温泉の話、恋しの湯などのお話を講師の松崎さんよりお聞きました。

講義のあとは予定どおり「山口洋子千曲川展示館」へ向かい、展示館の方から山口洋子さんと上山田温泉の繋がりについてお聞きしました。



亀が見つけた温泉のお話をご存じですか？

館内には作詞で受賞された数々の盾やトロフィー、愛用品がたくさん展示されており、実際に使っていた椅子に座ることもできました。

この講座に参加した方々から、隣の戸倉・上山田地区のことでも知らないことがたくさんあった、楽しかったなどの感想をいただきました。

自分が住んでいる地域のこともでも知らないことがたくさんあります。改めて地域のことに興味をもってみると、新しい発見がありますね。

サークル紹介

クラフトかごクラブ

稲荷山公民館 講師 林 由枝

みなさんこんにちは。クラフトかごクラブです。2年程前に稲荷山公民館で活動を始めました。文化祭などでカゴやバッグを展示していたのでご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ところで皆さんは、材料のクラフトバンドをご存知ですか。

クラフトバンドは、実は紙から出来ています。染料で染めた紙を1本1本縫って、細



カゴの底を製作中

くしたヒモ同士を12本つなぎ合わせたものが1本のバンドになっていきます。そのバンドを好みの太さに割いて編み、バッグやカゴなどを作っています。

毎回、1本の紙ヒモから個性豊かで素敵な作品が出来上がるたび感動が生まれます。

最初は自分の為に編んでいたのが、次はお子さんやお孫さんに、友人に、お世話になった方にと編む方が増えていつか、それを頂いた方が是非一緒にやってみたいと教室に来てくださっています。誰かの為にと一編み一編み心を込めて作った物は、贈られた方に喜びを与え、贈った方は温かい気持ちになれる。そんなお手伝いをする場所でありたいと思っています。

現在は20代〜70代の幅広い

方々が一緒に活動しています。初めての方も素敵な作品を作ることが出来ます。また11月からは、よりきめ細やかに教えることが出来るように、毎月の開催回数を増やしました。

コロナ禍で、人と人との交流が希薄になって今、クラフトを通して物作りの楽しさや交流する喜びを一緒に味わってみませんか。

戸倉史談会

戸倉公民館長 北村 勝則

戸倉公民館は昭和50年代から史談会に協力を依頼しながら公民館活動を展開してきた歴史があります。

史談会の歴史を紹介しましょう。会の前身は、郷土史のグループとして活動し、旧戸倉町の史料収集や研究をしていましたが、旧戸倉町からの要請で昭和39年5月「町史編纂調査委員会」に改め「戸倉町誌」の発刊に尽力し、続いて昭和46年に「歴史年表編纂委員会」に発展的に改組し、その際には「年表戸倉町の今昔」を発刊しています。

それらの実績をさらに継続、発展すべく、昭和49年8



ふるさとウォークで史跡ガイドをする史談会

月に柳沢和恵さんを会長に、79名の会員で「戸倉史談会」を設立しました。現在は、竹内長生さんを会長に、116名の会員がいます。

会の事業の柱は、会員が戸倉地区の歴史や長野県の歴史を掘り起こし記録する会誌「とぐら」の発行であり、設立の翌年から発刊された会誌は現在45号となっています。バックナンバーは戸倉図書館に揃っています。

他に戸倉芸術文化協会主催の文化祭での研究成果の発表や、戸倉公民館と共催の「ふるさとウォーク」では毎年歴史ガイドや講師を務めています。

また、市民参加を呼び掛けるの県内外の歴史バスツアーを主催するなど、郷土史の学

術団体として地域社会に長年に渡って多大な功績を残してきました。これらの活動により令和2年度千曲市長表彰を受賞しました。



戸倉史談会の皆さん



戸倉公民館 男性が集う「音楽カフェ」

仙石 関 富和

男性が公民館活動に参加しやすい催しは何か？と企画された「音楽カフェ」による。

主に60〜80年代のレコードや80年代からのCD盤の持ち込みによる音楽再生や仲間とのふれあい等の場として熱気にあふれた時間を過ごしてい

ます。

今までの公民館の教室スタジオとは違う催しで、1回目は和室で行われ、和やかに音楽に乗っての3時間が過ぎました。参加者のアンケートを参考に2回目からは会場を3階の小ホールに移し、3回目からは装置の一部変更、4回目はウイズコロナバージョンで行われました。

進行は公民館長がDJを担当し、参加者の曲にまつわる思い出話や解説等、本人の思いが伝わってきます。そして音楽が流れ、当時は思い出す時間が訪れます。

青春時代にフォークソングを大好きになった自分はコンサートや歌声、そして、ラジオ・テレビ・オーディオ装置



DJさん！この曲かけられるのかな？



これはめずらしい1曲なんです！（珠玉の1曲をご紹介します）

による音楽鑑賞を楽しんでいました。

今回の企画で自分のCDやレコードのクリーニング、そして、選曲をする楽しみが生まれました。

創造館のスピーカーでの再生音は家で聞く音楽より大きく、コンサート会場のような雰囲気伝わってきます。この企画の参加後にミュージックショップに足を運ぶと、当時には買えなかった曲や新たな曲がCDで発売されていることに気づいたことで、愛聴盤のコレクションが増えてしまいました。

あなたの青春時代の愛聴盤を、「音楽カフェ」で一緒に聴きましょう。音楽盤も喜んで鳴ることでしょう。

音楽カフェ最高！

令和3年

千曲市成人式

のお知らせ

日時

一日目

令和3年1月9日(土)

二日目

令和3年1月10日(日)

・受付 午後1時〜(両日共)
・式典 午後1時30分〜(両日共)

会場

上山田文化会館ホール

成人式対象者

平成12年4月2日から平成13年4月1日の間に生まれた市内に住所がある人と、市内の小学校に在籍した人です。

対象地区

一日目：屋代小・東小

治田小・八幡小

二日目：殖生小・戸倉小

更級小・五加小

上山田小

問い合わせ先

上山田公民館(成人式当番館)
Tel 026-276-5842
または、最寄りの公民館まで。



公民館学習活動実績発表会のお知らせ

今年度の各公民館の学習活動実績発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各館関係者と協議し、規模を縮小しての開催または、中止となりました。ご理解いただきますようお願いいたします。

名称	主催(会場)	展示発表	舞台発表
第4回屋代公民館サークル発表会	屋代公民館		中止
稲荷山公民館発表会	稲荷山公民館	開催予定 令和3年2月1日(月)~6日(土)	中止
八幡公民館発表会	八幡公民館	開催予定 令和3年3月1日(月)~6日(土)	中止
戸倉公民館発表会	戸倉公民館(戸倉創造館)	開催予定 令和3年3月20日(土)~21日(日)	開催予定 令和3年3月21日(日)

もっと知りたい

ふるさと

77

埴科古墳群

長野県史跡

土口將軍塚古墳

古墳は全国に多数あり、古墳の所在する土地の地名をつけて呼ばれているのが一般的です。

土口將軍塚古墳は、千曲市土口地籍と長野市松代町岩野地籍の境界上にあります。

昭和41年、藤森栄一著『日本の考古学』において「土口將軍塚」と紹介されて以来、「土口將軍塚古墳」と呼ばれるようになった古墳時代の有力者のお墓です。

昭和57年から61年にかけて、長野市・更埴市(現千曲市)の共同で発掘調査が行われました。調査の結果、墳丘は全長67・7メートルで、後円部の直径は40・5メートル、高さ8.1メートルで、前方部の最大幅は30・5メートル、高さ3.9メートルです。



土口將軍塚古墳の説明板



標柱

森將軍塚古墳(市内屋代・森地籍、全長100メートルの前方後円墳)と同じ形の前方後円墳で、墳丘は2段に土を盛り上げ、墳丘斜面の中ほどに「中段テラス」と呼ぶ平坦面が設けられています。

この中段テラスや墳丘の裾には、円筒埴輪や朝鮮型埴輪が並べられています。埴輪には、表面を板状の道具で叩いて整える特徴があり、朝鮮半島から伝わった土器の須恵器作りの技術との関連がうかがわれています。

朝鮮半島でも、同様の叩き目を持つ埴輪が見つかっています。また、墳丘には葺石の一部が確認されているので、築造当時は全体に葺石が施されていたものと思われます。後円部中央には2基の竪穴式石室が見つかり、副葬品の一部も出土しましたが、ほとんどは

盗掘により持ち去られていました。見つかった副葬品には、鉄鏃(鉄製の矢じり)や「三角板革綴短甲」と呼ばれる鉄製の鎧の一部などの武器、滑石製の白玉や、ガラス製小玉などの装身具、「土師器」と呼ばれる土器などの破片があります。

古墳の形や竪穴式石室の構造、見つかった副葬品、埴丘の埴輪などから倉科將軍塚古墳(市内倉科地籍、全長82メートルの前方後円墳)に続く、5世紀前半の築造であることがわかりました。

この土口將軍塚古墳は、昭和48年長野県史跡に指定されています。



岩野側から見た古墳の全景

ていきましたが、市内の前方後円墳の調査により平成19年に、森將軍塚古墳・有明山將軍塚古墳・倉科將軍塚古墳・土口將軍塚古墳の4基が「埴科古墳群」として国の史跡に指定されています。

この土口將軍塚古墳へは、土口古大穴神社から登る道のほかに、岩野から登る道もあり、それぞれ地元の方々により見学路の整備が行われていますが、土口側から登る道が歩きやすくなっています。

土口將軍塚古墳に埋葬された有力者は、どこのムラの有力者だったのか、実際に登って想像してみてはいかがでしょうか。

屋代公民館長 安藤秀一



土口將軍塚位置図

編集後記

今年も残すところあと1か月となりました。

八幡では12月と言えば武水別神社の大頭祭がすぐに頭に浮かびます。毎年10日から14日までそれぞれの日の担当地区が交替で、出し物や提灯行列をにぎやかに奉納し、通りの家々の門毎に豆ガラを焚いて行列を迎えます。

そんな大頭祭も今年はコロナの影響で祭事のみとなり、お練りの山車も御供まきもす

べて中止になり、なんだか淋しい限りです。

9月14日にあった仲秋祭も恒例の花火が中止になり、静かなお祭りでした。

こんなことが重なると、いつい心が滅入ってしまうようになりますが、「コロナなんて長い人生では少しのこと!」という人生の先輩の言葉に励まされました。これからもコロナに負けず、明るく、前向きに生活しようと思っています。

(八幡 K)